

今シーズン、最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手が決定！

2024 スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 受賞者

セ・リーグ 長岡秀樹選手（東京ヤクルトスワローズ）

パ・リーグ 小川龍成選手（千葉ロッテマリーンズ）

スペシャルゲストに上原浩治氏が登壇



スカパー! は11月27日（水）に「2024 スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」の表彰式を開催しました。表彰式には受賞選手である、東京ヤクルトスワローズ・長岡秀樹選手（セ・リーグ）と千葉ロッテマリーンズ・小川龍成選手（パ・リーグ）が登壇しました。表彰式後には受賞両選手に加え、ゲストに上原浩治氏をお迎えしトークショーが行われました。

表彰式では受賞選手の発表に始まり、受賞プレー紹介をした後、トロフィーと賞金パネルが贈呈されました。長岡選手（東京ヤクルトスワローズ）は「前の打者の中村選手に『決めてくれ!』と思っていました。相手投手は三振が取れる投手であり、追い込まれての勝負は難しいと思い、初球からコンタクトできるように心がけていました。」、小川選手（千葉ロッテマリーンズ）は「2死満塁の場面でしか回ってこないことがわかった時から、自分の中でセーフティバントもアリなんじゃないかと考えていた。」と該当打席での想いを喜びとともに語りました。

表彰式後、会場では受賞両選手と上原氏によるトークショーを行いました。受賞プレーをVTRで振り返る場面や会場のプロ野球ファンから届いた、両選手の試合前の勝負飯や気持ちの切り替え方など質問コーナーも展開。長岡選手は、青木選手による試合後の粋な計らい、小川選手は受賞プレーとなった「サヨナラセーフティバント」を選択した経緯を細かく振り返りました。

上原氏は、自身の経験から「最近では遠慮がちな選手も多いが、欲を持つのはいいことなので、長岡選手・小川選手には2025年もスカパー! サヨナラ賞年間大賞を受賞できるよう頑張ってもらいたいと思います!」と受賞両選手の今後の活躍にエールを送り、受賞記念グッズの贈呈も行いました。

◎長岡秀樹選手（東京ヤクルトスワローズ） コメント

本日は「スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に選んでいただき本当にありがとうございます。また投票してくださったファンの皆様、ありがとうございました。

今年は、チームが2年連続の5位と苦しい結果で終わってしまったため、来年こそ優勝、日本一を目指して頑張りたいと思います。個人としても、キャリアハイを目標に頑張りたいと思いますので、ご声援宜しくお願いいたします。

◎小川龍成選手（千葉ロッテマリーンズ） コメント

本日は「スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を受賞させていただき、ありがとうございます。自分の持ち味を生かすことができた打席だったと思います。

来シーズンは、まずはレギュラーをつかみ取り、1年間自分が試合に出て活躍しチームを優勝に導けるように、この賞を来年もまた取れるように頑張りたいと思います。選んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

◎ゲスト・上原浩治氏 コメント

長岡選手・小川選手スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞受賞おめでとうございます！

長岡選手はレギュラー獲ったと思いますので、我々の世代で言う「宮本慎也選手」のようにこれから10年務めるショートとして活躍してほしいし、小川選手はまずレギュラーをしっかり獲って1年間を怪我無くやってほしいなと思います。二人ともアベレージヒッターで、足が速いという、持ち味を生かしてチームの中心として頑張してほしいです。

■受賞プレー概要

長岡秀樹選手（東京ヤクルトスワローズ）～起死回生の逆転サヨナラ2点二塁打～

長岡選手は、7月28日（日）神宮球場で行われた対広島東洋14回戦、3対4の1点ビハインドで迎えた9回裏、二死二、三塁の場面で、左中間へ起死回生の逆転サヨナラ2点適時二塁打を放った。

東京ヤクルトは、先発・阪口投手が序盤に失点を重ね0対3と劣勢に立たされるも、3回裏に赤羽選手の2点本塁打、5回裏には山田選手のソロ本塁打で同点に追いついた。しかし、6回表にマウンドに上がった大西投手が先頭打者・坂倉選手に本塁打を浴び、再び勝ち越しを許してしまう。その後、打線はチャンスを作るものの決定打を欠き、迎えた9回裏、相手マウンドには広島東洋の守護神・栗林投手。代打・川端選手、山田選手の連打などで二死二、三塁とサヨナラのチャンスを作り、打席に立ったのは長岡選手。ここまで4打数無安打で迎えた打席であったが、初球に狙いを定め振り抜いた打球は、左中間を破る逆転サヨナラ2点二塁打となり、ファン総立ちの劇的な一打で勝利を掴んだ。

小川龍成選手（千葉ロッテマリーンズ）～二死からサヨナラセーフティバント～

小川選手は、7月30日（火）ZOZOマリンスタジアムで行われた対埼玉西武12回戦、6対6の同点で迎えた9回裏、二死満塁の場面で、三塁へ意表を突くセーフティバントを敢行し、見事なサヨナラ適時内野安打を決めた。

この試合、千葉ロッテは1回裏、藤岡選手の適時打、ポランコ選手の2点本塁打で3点を先制するも、直後の2回に同点に追いつかれてしまう。7回表に勝ち越しを許すと、8回表にも追加点を奪われ、点差は2点に広がってしまった。迎えた8回裏、ソト選手の本塁打で1点差にせまると、二死満塁から、藤原選手の二塁への適時打等で、この回3点を奪って逆転に成功する。勝負は決まったかに思われたが、9回表に再び追いつかれ、6対6の同点で9回裏を迎えた。ソト選手の安打、高部選手の粘りの四球などで二死満塁の好機を作り、打席に入ったのは8回裏に代走から途中出場していた小川選手。初球、埼玉西武の守護神・アブレイユ投手が投球モーションに入ると、小川選手はバントの構えを取る。誰もが意表を突かれた中で、三塁側に見事なバントを決めると、自慢の快足を飛ばし、サヨナラ適時内野安打をもぎ取った。自身初となるサヨナラ打で、取っては取られてのシーソーゲームを制した。

■スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞

本賞は、レギュラーシーズンを通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手（セ・パ両リーグ各1選手）に贈られます。「最後の一球まで何が起こるかわからない」と言われる野球というスポーツの象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、プロ野球全12球団公式戦全試合を放送し、ファンのみなさまの胸が熱くなるゲームを最後までお届けしているスカパー!の想いと連動した賞であり、今シーズン記録されたセ・リーグ35試合、パ・リーグ44試合のサヨナラゲームの中から、「最もインパクトのある一打」を選出しています。受賞両選手にはそれぞれオリジナルトロフィーと賞金200万円が贈られます。

なお、2021年の年間大賞より、最もインパクトのある一打を表彰するという本来の趣旨はそのままに、本賞をファンの皆様とともに作り上げ、より親しみやすい賞にしたいとの思いをこめて、受賞選手選出方法にプロ野球ファンの投票制を導入いたしました。

■スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 記念グッズ

「2024 スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に選出された長岡秀樹選手（東京ヤクルトスワローズ）及び、小川龍成選手（千葉ロッテマリーンズ）の「スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 記念グッズ」をスカパー! グッズモールで販売しております。

2009年シーズンから始まった本賞の、サヨナラの劇的瞬間を形にした記念グッズは「スカパー! サヨナラ賞」の更なる普及促進と、プロ野球ファンの皆さまに「スカパー! サヨナラ賞」をより楽しんでいただきたく、今シーズンよりご用意しております。

販売URL：<https://shop.skyperfectv.co.jp/shop/r/r102006/>

販売期間：2024年11月27日（水）13:00～12月22日（日）23:59

配送時期：2025年1月予定

商品ラインナップ：Tシャツ/4000円、リバーシブルフェイスタオル/2800円、トートバッグ/3300円、アクリルキーホルダー/1300円、アクリルスタンド/2200円、タペストリー/3300円、メタルポスター/10000円

※商品ラインナップ、及びデザイン・仕様・素材は予告なく変更になる場合があります。

※金額は全て税込みです。



タペストリー（長岡選手） メタルポスター（小川選手）

<<年間大賞 歴代受賞選手>>

年度	セントラル・リーグ	パシフィックリーグ
2009	亀井 義行（読売ジャイアンツ）	井口 資仁（千葉ロッテマリーンズ）
2010	天谷 宗一郎（広島東洋カープ）	小久保 裕紀（福岡ソフトバンクホークス）
2011	長野 久義（読売ジャイアンツ）	松田 宣浩（福岡ソフトバンクホークス）
2012	和田 一浩（中日ドラゴンズ）	中田 翔（北海道日本ハムファイターズ）
2013	長野 久義（読売ジャイアンツ）	浅村 栄斗（埼玉西武ライオンズ）
2014	福留 孝介（阪神タイガース）	松田 宣浩（福岡ソフトバンクホークス）
2015	雄平（東京ヤクルトスワローズ）	柳田 悠岐（福岡ソフトバンクホークス）
2016	鈴木 誠也（広島東洋カープ）	吉村 裕基（福岡ソフトバンクホークス）
2017	宮崎 敏郎（横浜 DeNA ベイスターズ）	栗山 巧（埼玉西武ライオンズ）
2018	下水流 昂（広島東洋カープ）	森 友哉（埼玉西武ライオンズ）
2019	高山 俊（阪神タイガース）	鈴木 大地（千葉ロッテマリーンズ）
2020	西浦 直亨（東京ヤクルトスワローズ）	井上 晴哉（千葉ロッテマリーンズ）
2021	坂倉 将吾（広島東洋カープ）	岡 大海（千葉ロッテマリーンズ）
2022	丸山 和郁（東京ヤクルトスワローズ）	宗 佑磨（オリックス・バファローズ）
2023	坂本 勇人（読売ジャイアンツ）	角中 勝也（千葉ロッテマリーンズ）

リリース情報は、スカパー! 公式サイトにも掲載されております。<https://www.skyperfectv.co.jp/>